

笑顔重ねた 百年の歳月



● ジオパークから学ぶ大地の成り立ち	2 ㊦
● 田野畑村総合防災訓練	4 ㊦
● 田野畑村芸能フェスティバル	5 ㊦
● 村の話題	6 ㊦

主な内容

10月31日、佐藤キクさんが100歳の誕生日を迎えました。(関連記事は8㊦)



②



③



⑤



①



④

①_津波石の大きさに驚く児童(ハイペ海岸) / ②_津波石をタブレット端末で撮影する生徒(羅賀ふれあい公園) / ③_地層などの見学をする生徒(平井賀漁港) / ④_化石などを真剣な表情でスケッチする児童(ハイペ海岸) / ⑤_実験で地層のつき方を学ぶ



ホテル羅賀荘前のひらなめ海岸。水中に続く地層を見ることができる

日本一広大なジオパーク 三陸ジオパーク

平成25年9月に日本ジオパークとして認定された、三陸ジオパーク。青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市までの三陸沿岸16市町村がエリア。南北約220キロ、東西約80キロ、その海岸線は約300キロ以上に及ぶ日本一広大なジオパークです。29年12月22日に行われた、日本ジオパーク委員会で三陸ジオパークは、2年間の条件付きで再認定となり、31年の秋に再審査を控えています。条件付き再認定の理由は、「運営体制が弱く、活動の目的が住民と共有されていない」というものでした。

村は6月19日、三陸ジオパークの魅力が村内外へ発信していくための体制強化を目的に、村三陸ジオパーク推進協議会(石原弘会長)を設立しました。

同協議会では▼小学生向けのジオパーク授業▼村民向けジオパークイベントの開催▼三陸ジオパークの人材(ガイド)の育成▼情報発信の強化などに取り組み、近隣市町村などと連携しながら、三陸ジオパークの普及活動を行っています。

児童・生徒がジオパークから 大地の成り立ちを学ぶ

村が三陸ジオパークの普及活動を行う中、田野畑小(野中光男校長・児童158人)と田野畑中(石川健校長・生徒73人)では、三陸ジオパークを活用した授業を行っています。

田野畑小の6年生は11月5日に、露頭観察を行いました。平井賀漁港やハイペ海岸を三陸ジオパーク認定ガイドの齋藤修さん(68) 田野畑中の案内で見学。齋藤さんの説明に真剣な表情で耳を傾けながら、地層や化石をスケッチしたり、タブレット端末で撮影したりして、地層が水の働きでできたものか、火山の働きでできたものかを考えました。

田野畑中1年の露頭観察は11月6日に行われ、平井賀漁港やハイペ海岸、鳥越の観光船発着所前などで地層を見学。11月14日に田野畑中などで行われた、小中連携学校公開研究会で、三陸ジオパーク推進協議会の推進員らの前で、露頭観察の内容を基に、地層がどこでできたものかを考え、大地の歴史を探りました。

田野畑小と田野畑中で理科の授業を受け持つ、滝川加奈子教諭は

ジオパークから学ぶ 大地の成り立ち



三陸ジオパーク
Sanriku Geopark

ジオパークってなに？

ジオパークとは、「地球や大地(ジオ)」と「公園(パーク)」とを組み合わせた言葉。「大地の公園」を意味し、地球を学び、楽しむことができる場所です。

ジオパークでは、見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定して、教育やジオツアーなどの観光活動などに活かし、地域を元気にする活動や、そこに住む人たちに地域の素晴らしさを知ってもらう活動を行います。

Interview ~ジオパークでの学習で感じたこと~



三上 煌陽くん
田野畑小6年

平井賀漁港では、地層を間近で見ることができ、ハイペ海岸には、田野畑村にアンモナイトの化石があることを初めて知りました。この環境を大切にしていきたいと思いました。



高橋 彩華さん
田野畑中1年

教科書での勉強だけでは分かりにくいことも、実際に見て触って、とても勉強になりました。とても貴重な経験ができて、改めて田野畑村の大地の歴史はすごいと感じました。

「田野畑村は、北山崎や鶴の巣断崖、白亜紀の地層など、大地の成り立ちを身近に感じることがができます。実際に見て触って学習できる環境は、他ではあまりありません。ジオパークでの学習をおしえて、子どもたちが田野畑村の自然の素晴らしさに目を向けることができます」と話していました。



力強い舞いを披露した甲地鹿踊り



オープニングを飾った田中一揆太鼓



北上翔南高校の鬼剣舞



若鶴会の美しい舞い



会場にきれいな歌声を響かせたしゃくなげ合唱団



田野畑村芸能フェスティバル 2年に一度の芸能の祭典

村の芸能団体などが一堂に会して、日ごろの活動や練習の成果を発表する、田野畑村芸能フェスティバル（村芸術文化協会主催）が11月4日、アズビイホールで開かれ、約200人が歌や踊り、伝統芸能を鑑賞しました。

オープニングは、田野畑中の特設太鼓部「一揆太鼓」。力強い演奏で芸能フェスティバルが幕を開きました。



若鶴会と若柳流寿慧会は、あでやかな着物姿で、美しい舞い。伝統芸能では、菅窪鹿踊りと甲地鹿踊り、大宮神楽が長く受け継いできた伝統の舞いを披露しました。

小学生は、各地区で取り組んでいる▼甲地剣舞▼菅窪鹿踊り▼弥五兵衛太鼓▼大宮神楽の練習の成果を発表。大人顔負けのステージに温かい拍手が送られました。

最後の演目は、岩手県高校総合文化祭の郷土芸能発表会で最優秀賞に選ばれた、北上翔南高校鬼剣舞部が躍動感あふれる舞を披露。会場は大きな拍手で包まれました。

村は11月10日、村総合防災訓練をアズビイホール周辺などで行いました。

訓練には、住民や村消防団（上村繁幸団長）、関係機関など約550人が参加。津波避難や避難所運営シミュレーション、避難所炊き出し、初期消火、土のう積みなどのさまざまな訓練をおおして、災害時の行動や備えの大切さを再確認しました。

本年度の訓練は、岩手県総合防災訓練と合同開催。達増拓也岩手県知事が、村災害対策本部を設置した村中央防災センターで初動対応訓練の様子を確認しました。

達増知事は「消防団や関係機関と連携し、力強い訓練をしていて、とても心強く思う。この防災訓練が多くの住民の防災意識の高揚や、減災を考えるきっかけになることを期待する」とあいさつしました。

「午前8時30分、三陸沖を震源とする非常に強い地震が発生し、3分後、岩手県沿岸に対して大津波警報が発表された」という想定で行われた津波避難訓練。8時33分の大津波警報を知らせる防災無線とともに、沿岸地区の住民や消防団員など約300人が避難場所までの経路の確認や避難誘導を行いました。

田野畑村総合防災訓練 災害時の行動を確認



津波監視カメラを操作する達増拓也岩手県知事



段ボールを使ってベットを作る避難所シミュレーション訓練



中央防災センターで島の沢水門の遠隔操作をする消防団員



消防団員が行った土のう積み訓練



避難所炊き出し訓練を行う村赤十字奉仕団ら



ヤマブドウの枝の切り方を学ぶヤマブドウ生産組合の組合員

ヤマブドウの枝の切り方学ぶ

田野畑村ヤマブドウ生産組合（佐々木弘見組合長）では11月15日、菅窪の泉山茂隆さんの農地で、ヤマブドウの剪定講習会を行いました。

参加したのはヤマブドウ生産組合員ら8人。参加者は宮古農業改良普及センターの普及員から指導を受け、正しい枝の切り方などを学びました。

佐々木組合長は「これから研修を重ね、良い品質のヤマブドウを作って、販路を拡大していきたい」と意気込んでいました。

田中が生が経営者から魅力学ぶ

田野畑中（石川健校長、生徒73人）では11月19日、会社や事業所の経営者を講師に迎え、村の魅力発見学習を行いました。

講師は閑花兵衛本店の菊地大社長と障がい者福祉事業所ハックの家の竹下敦子施設長。自身の起業や会社経営の経験に基づき、村の魅力を伝えました。菊地社長は「いろいろなことに興味を持ち、挑戦して、得意な事を見つけてほしい」。竹下施設長は「田舎だからできることがある。村で挑戦してほしい」とそれぞれエールを送りました。



生徒の前で花への思いを語る菊地大社長

老人ホームで馬とのふれあい

NPO法人乗馬とアニマルセラピーを考える会では11月16日、沿岸被災地域支援などのための馬とのふれあい訪問を実施。馬っこパーク・いわてからポニー2頭が、特別養護老人ホームリアス倶楽部と若桐保育園を訪れました。

リアス倶楽部では、入所者がポニーにニンジンあげたり、馬車に乗って馬とのふれあいを楽しみました。小野寺稔さん(92)は「とても晴れ晴れとした気分になった。また来てほしい」と笑顔を見せていました。



馬にニンジンあげて笑顔を見せる小野寺稔さん



地域おこし協力隊員の高浜大介さんと妻の菜奈子さん、長女の馨子ちゃん

地域おこし協力隊に高浜さん

11月12日、村の地域おこし協力隊員に高浜大介さん(38)が就任しました。村の地域おこし協力隊員は高浜さんで6人目。政策推進課で暮らしやすい村のランドデザイン構想などの地域創生の推進に関する業務を行います。

高浜さんは、千葉県の佐倉市から妻の菜奈子さん(26)と長女の馨子ちゃん(11カ月)の3人で田野畑村に移住。「まずは地域を知ることから始めていきたい」と意気込みを語りました。



石原弘村長に目録を手渡すアサヒグループホールディングス浅山貴子CSR部マネジャー

郷土芸能の保存・発展を応援

アサヒグループが実施するコミュニティ助成事業の助成金目録贈呈式が10月31日、村役場で行われ、アサヒグループホールディングスの浅山貴子CSR部マネジャーから石原弘村長に目録が手渡されました。

この事業は、東日本大震災で被災した市町村での、郷土芸能の保存、発展を目的とする活動に対して助成するものです。

村芸術文化協会（下坂弘次会長）と菅窪鹿踊保存会（小野敏勝会長）が助成を受け、衣装などを整備しました。

秋の甲地地区をウォーキング

晩秋の里山・溪流ウォーキング（体験村・たのはたネットワーク主催）が11月3日、甲地地区で開かれ、参加者はのどかな里山の風景を楽しみました。

イベントには盛岡市や久慈市、岩泉町などから10人が参加。ガイドの佐々木芳利さんの案内で甲地地区を歩きながら、紅葉に染まる里山の景色を楽しみました。大沢洋子さん(75)＝久慈市＝は「とてもきれいな景色で、時間を忘れて楽しむことができた」と笑顔を見せていました。



ガイドの説明を聞きながら甲地地区を歩く参加者の皆さん

佐藤キクさん 百寿の祝い



家族らから祝福を受け、笑顔を見せる佐藤キクさん

田野畑地区の佐藤キクさんが10月31日、100歳を迎えました。同日は石原弘村長が自宅を訪れ、花束や記念品を贈り長寿をお祝い。家族が温かい拍手で祝福しました。

キクさんは「みんなに喜んでもらえてうれしいし、とても幸せです。親が丈夫に産んでくれたおかげです」と笑顔を見せていました。

大正7年に田野畑村で生まれたキクさんは、昭和13年に等さんと結婚。鎌やおのを使つての丸太切りや炭焼きなどの林業、豚の飼育、畑仕事など、いろいろな仕事をしながら4男2女を育てました。

等さんから「よく稼ぐなあ」と言われていたそうです。

現在の日課は、家の掃除。夜明け前には起床して、廊下の雑巾掛けをします。食事は3食、残さず食べます。

「よく稼いで、よく食べて。」

キクさんは長生きの秘けつをこう語ります。

長男の佐藤貞一さん(79) 田野畑は「まだまだ親孝行をしたいので、これからも元気で長生きしてほしいです」と願っていました。

奥地キミ子さん 厚生労働大臣表彰を受賞



全国食生活改善大会が10月23日、愛知県で開かれ、村食生活改善推進員団体連絡協議会(以下、食改)の奥地キミ子会長が、栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

奥地会長は、昭和59年から食改の会員として、食育活動など地域の食生活改善に尽力。平成18年からは会長を務めています。奥地さんは「みんなで助け合って、楽しみながら活動を続けていきたい」と話しました。

工藤智榮さん 岩手県知事表彰を受賞



岩手県老人クラブ大会が10月19日、釜石市で開かれ、工藤智榮さん(85) 鳥越が、社会福祉事業功労者岩手県知事表彰を受賞しました。

工藤さんは平成14年から田野畑村老人クラブ連合会の理事を務め、老人クラブの育成や組織運営に貢献しました。

工藤さんは「これからも地区や村の福祉向上のために、できることをしていきたい」と話しました。

ノロウイルスに要注意

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、冬季に流行します。抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は、特に注意が必要です。

○感染したときの症状

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒に感染すると、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、軽度な発熱が1〜2日続きます。

しかし、感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。乳幼児や高齢者は、脱水症状をおこして重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせてしまうことがあり、注意が必要です。

○感染経路

①人から人への感染：感染者の嘔吐物や便の中にはノロウイルスが含まれています。ウイルスが手などについて口から感染する場合や、飛沫から感染する場合があります。

②食品から人への感染：生や加熱が不十分なカキなどの二枚貝を食べることで、感染しま

す。また、調理する人がノロウイルスに感染していて、その人から、ノロウイルスが食品につき、それを食べて感染する場合があります。

○予防のポイント

①カキなどの二枚貝は、中心部まで十分に加熱(85〜90℃で90秒以上)してから食べましょう。湯通し程度の不十分な加熱ではウイルスの感染力は失われません

②野菜・果物などの生鮮食品は十分に洗浄しましょう

③トイレの後、しっかり手を洗いましょう

○感染の拡大を防ぐために

患者の嘔吐物や便を処理する際には、使い捨てのエプロンとマスク、手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、ペーパータオルなどで静

かに拭き取ります。

拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム消毒液(※1)で浸したペーパータオルか布で床を拭き取り、水拭きします。

おむつや拭き取りに使用したペーパータオルなどは、ビニール袋に密閉して廃棄します。この際、ビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の次亜塩素酸ナトリウム消毒液(※2)を入れると効果的です。

また、ノロウイルスは乾燥すると空气中に漂い、口から感染することがあります。嘔吐物や便は乾燥しないうちに速やかに処理し、十分に換気を行うことが感染防止に重要です。

○消毒液の作り方

次亜塩素酸ナトリウムの消毒液は、塩素系漂白剤を使って作ることができます。

(※1)：2ℓのペットボトルに、塩素系漂白剤(ペットボトルのキャップ2杯)と水(2ℓ)を入れます

(※2)：500ℓのペットボトルに、塩素系漂白剤(ペットボトルのキャップ2杯)と水(500ℓ)を入れます

食改さんの減塩レシピ

Low-salt recipes



モヤシとニラの梅おほかかポン酢

※エネルギー25kcal、塩分0.6g(1人分)

食生活改善推進員から一言…梅干しの塩分やかつお節のうまみ、ごまのkokkokuを利用することで、少ない調味料でもおいしく食べられる一品。

●材料 (2人分)

モヤシ	140g
ニラ	20g
ポン酢しょうゆ	小さじ1
梅干し	小さじ½
かつお節	3g
白いりごま	小さじ1

●作り方

- ①モヤシはヒゲを取って茹でて水気をしっかり切る
- ②ニラは3〜4等分に切って、さつと茹でて水気をしっかり切る
- ③粗熱のとれた、モヤシとニラをボウルに入れて混ぜ、「A」で調味し、ごまを振る

除雪作業に理解と協力を

冬を迎え、降雪による道路の除雪作業が本格化します。また、冬期間利用の少ない路線などの除雪を見送り、12月20日から3月下旬まで通行止めとします(下表)。

次の①から⑤に理解と協力をお願いします。

- ① **除雪作業に理解を**
除雪機械のオペレーターの高齢化や労働者不足により、除雪作業に時間が掛かる場合があります。
- ② **間口除雪に協力を**
道路の除雪で家の出入り口に寄せられた雪は、それぞれの家庭や隣近所で除雪をお願いします。
- ③ **道路への雪だしはやめましょう**
道路への雪出しは路面が凸凹になり非常に危険です。路面凍結や

交通事故、渋滞の原因となります。

- ④ **深夜や早朝の作業に理解を**
除雪作業は、交通量の少ない夜間や早朝に行うことがあります。作業中の騒音や振動に理解をお願いします。
- ⑤ **路上駐車はやめましょう**
路上駐車は、除雪作業の妨げとなります。車の乗り入れ板や看板なども障害物となり危険です。

- ◆ 村道に関する問い合わせ先：地域整備課(☎34-2113 内線513)
- ◆ 県道に関する問い合わせ先：岩泉土木センター(☎22-3116)
- ◆ 国道に関する問い合わせ先：三陸国道事務所久慈維持出張所(☎0194-5312790)



冬期間通行止めの路線は、この看板が目印です

ごみの分別に協力を

不燃ごみ収集日の11月13日に、スプレー缶が原因と思われる、ごみ収集車の火災事故が発生しました。スプレー缶やカセットボンベ、ライターなどには、可燃性ガスが含まれています。ガスが残ったまま捨てると、収集車の中でガスが漏れ、摩擦などにより火災や爆発が起こり、人命にかかわる大きな事故につながる恐れがあります。スプレー缶などは、完全に使い切ってから穴を開けてごみに出してください。



焼け跡から見つかったスプレー缶

また、ごみを出す際には、村ごみ分別ポスターを確認し、正しく分別するよう協力をお願いします。

- ◆ 問い合わせ先：生活環境課(☎34-2114 内線22)

家屋解体の届け出を忘れずに

平成30年1月2日から平成31年1月1日に家屋を解体した人は、固定資産課税台帳から抹消するために届け出が必要です。届け出をしないと、引き続き固定資産税が賦課されることになりますので、

- ◆ 忘れずに届け出してください。
- ◆ 届出期限：平成31年1月31日(木)
- ◆ その他：届出用紙は、各地区の行政区長さん宅にあります
- ◆ 届け出・問い合わせ先：総務課(☎34-2112 内線32)

出稼ぎ者の健康診断を実施

村は、出稼ぎ者を対象とした健康診断を行います。年末年始に帰省する人は受診してください。

- ◆ 日程：平成31年1月4日(金)
- ◆ 受付時間：午前8時30分～11時30分
- ◆ 場所：村診療所
- ◆ 対象：出稼ぎ手帳所持者

- ◆ 費用：自己負担。ただし、8920円までは村が助成
 - ◆ 申込期限：12月21日(金) 午後5時15分
 - ◆ 申し込み・問い合わせ先：生活環境課(☎34-2114 内線25)
- ※当日の申し込みは、受け付けません

住民票など証明書の用紙が変わりました

戸籍や住民票、所得証明書など、税務関係などの証明書に使用する用紙を変更しました。

新しい用紙には、村マスコットキャラクター「タノくん」や北山崎などのイラストを使用しています。なお、旧用紙の証明書もそのまま利用できます。

- ◆ 問い合わせ先：生活環境課(☎34-2114 内線25)



お知らせ

人口と世帯	火災
11月1日現在()は前月比	(10月21日～11月20日)
人口 3,432人(-9)	火災の【今月】0件
男 1,703人(-7)	発件数【今年】2件
女 1,729人(-2)	無火災の連続記録
世帯 1,432世帯(+1)	(11月20日現在) 164日

知 いわて就職面接会を開催

- ◆日時…12月15日(土)
午後1時～4時30分
- ◆場所…岩手産業文化センター
アピオ(滝沢市)
- ◆対象…一般求職者、平成31年
3月卒業・修了予定の大学院、
大学、短大、専門学生など
- ◆内容…岩手に事業所がある企
業約60社との面談、就職相談、
イベント情報の提供など
- ◆その他…予約、履歴書不要
- ◆問い合わせ先…ふるさとといわ
て定住財団(☎019-653-8976)

知 がんに関する公開講座を開催

- 宮古病院では、がんに関する
公開講座を開催します。
- ◆日時…12月8日(土)
午前10時30分～11時30分
- ◆場所…イーストピア宮古(市
民交流センター)
- ◆内容…「最近増えている膵臓
がんの話」、「仕事と治療の両
立支援について」
- ◆費用…無料
- ◆申し込み…不要
- ◆問い合わせ先…宮古病院地域
医療福祉連携室(☎0193-62-
4011)

募 野菜づくりで収入確保を考えている人は座談会へ参加ください

- 宮古地方農業振興協議会では、農業収入を目的とした野菜・花き・
ワサビなどの園芸品目栽培に興味を持っている人を対象に、野菜な
どの栽培品目の紹介や意見交換を目的とした座談会を開催します。
- ◆問い合わせ先…宮古地方農業振興協議会事務局(☎0193-69-3220)

開催日	時間	対象地区	場所
12月10日(月)	午前10時～正午	田野畑北部	明戸地区公民館
	午後1時～3時	田野畑中央・南部	アズビィ楽習センター
	午後3時30分～5時30分	田野畑西部	尾肝要地区公民館

知 12月1日は世界エイズデー

- 宮古保健所では、世界エイズ
デーのキャンペーンとして、受
付時間を拡大してエイズ検査な
どを実施します。
- ◆日時…12月11日(火)
午後3時～7時
- ◆場所…宮古保健所
- ◆検査項目…① HIV 抗体検査②
肝炎ウイルス検査③性器クラ
ミジア感染症病原体検査④梅
毒検査⑤ HTLV-1 抗体検査
※⑤のみ実名で予約
- ◆結果の通知…①は採血後30分
で通知。その他の検査は10日
後以降に面接で通知
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保
健所(☎0193-64-2218)

知 宮古下閉伊地区高校芸術展

- ◆日時…12月13日(木)～16日(日)
午前10時～午後5時(16日は
午後4時まで)
- ◆場所…宮古市民文化会館
- ◆内容…美術工芸、書道、写真、
華道、放送、文芸など
- ◆問い合わせ先…岩手県高等学
校文化連盟宮古支部(☎0193-
62-1430)

知 多重債務相談窓口を設置

- 盛岡財務事務所では、自らの
収入で返済しきれないほどの借
金を抱え、悩んでいる人の相談
に応じています。電話での相談
も可能です。
- ◆日時…月～金曜日(祝日を除
く) 午前8時30分～午後4
時30分
- ◆場所…盛岡合同庁舎(盛岡市
内丸7-25)
- ◆相談電話…☎019-622-1637
- ◆その他…相談無料。秘密厳守
- ◆問い合わせ先…盛岡財務事務
所(☎019-625-3353)

知 宮古圏域発達支援セミナー

- ◆日時…12月24日(月)
午前10時～正午
- ◆場所…イーストピア宮古(市
民交流センター)
- ◆テーマ…自閉スペクトラム～
10人に1人が抱える生きづら
さの正体とその支援～
- ◆定員…150人
- ◆費用…無料
- ◆申込期限…12月20日(木)
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮
古圏域障がい者福祉推進ネッ
ト(☎0193-64-7878)

知 防災タウンページを配布

- N T Tタウンページでは、日
ごろの備えや災害時の行動のポ
イントを盛り込んだ「防災タウ
ンページ岩手県版」を発行しま
す。防災タウンページは、12
月上旬から末にかけて、全住戸、
全事業所に届けられます。
- ◆問い合わせ先…タウンページ
センタ(☎0120-506309)

知 いわて年末年始無災害運動

- 岩手労働局などでは、「あな
たの安全家族の願い 年末年始
も無災害」をスローガンに12月
1日から平成31年1月31日まで、
「いわて年末年始無災害運動」
を展開します。
- 年末年始は慌ただしさに加え、
凍結、積雪などの自然要因も加
わり、労働災害のリスクが高ま
る時季となります。
- 凍結路面での転倒、車両のス
リップ事故など、冬特有の労働
災害の防止に努めましょう。
- ◆問い合わせ先…岩手労働局健
康安全課(☎019-604-3007)

知 アカマツのまきを買い取り

- 栃木県の益子焼で使用する、
陶芸用まきを買い取ります。
- 仕立ての方法や集荷の方法な
ど詳しくは問い合わせしてくだ
さい。
- ◆その他…本年度中に伐採した
木材に限り、雨ざらしにな
ったものや、カビなどが出
ているものは利用できません
- ◆問い合わせ先…思惟の森の会
稲門会アカマツまき事務局
(☎090-6032-0131)

知 骨髄バンク登録に協力を

- 骨髄バンクは、治療が難しい
血液疾患の患者さんの命をつな
ぐボランティアです。
- ◆日時…12月11日(火)
午後1時～2時
- ◆場所…宮古保健所
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保
健所(☎0193-64-2218)

知 除雪機の事故を防ぎましょう

- 毎年、除雪機による事故が多
発しています。除雪機を使う際
には、次の①～④に気を付け、
正しく、安全に作業を行って
ください。
- ①安全装置が正しく作動しない
状態で絶対に使用しない
- ②周囲に人がいないことを確認
し、絶対に近づけさせない。
人が近づいた場合は除雪機を
直ちに停止する
- ③投雪口に詰まった雪を取り除
く時は必ずエンジンを停止し、
回転が停止したことを確認し
てから雪かき棒を使用して取
り除く
- ④特に後進時は足元や周囲の障
害物に注意を払い、無理のな
い速度で使用する
- ◆問い合わせ先…日本農業機械
工業会(☎03-3433-0415)

知 再生品の展示会を開催

- ◆日時…12月7日(金)～9日(日)
いずれも午前9時～午後4時
- ◆場所…宮古地区広域行政組合
(宮古市崎山6-122-1)
- ◆対象…宮古市、山田町、岩泉
町、田野畑村に住んでいる人
※再販売を目的とする場合参加不可
- ◆費用…無料。引き取り費用は
自己負担
- ◆問い合わせ先…宮古広域行政
組合施設課(☎0193-64-7111)

知 ゆるキャラグランプリ結果発表

- ゆるキャラグランプリ2018に
エントリーした、村マスコット
キャラクター「タノくん」は、
1063票を獲得し、265位でした。
皆さんの応援ありがとうございました。
- ◆問い合わせ先…政策推進課
(☎34-2111 内線63)



知 生活や仕事の困りごと相談会

- 生活や仕事などの困りごとを
共に考え、支援します。
- ◆日時…12月21日(金)
午前10時30分～正午
- ◆場所…アズビィ楽習センター
- ◆費用…無料
- ◆問い合わせ先…宮古圏域く
らしサポートセンター(☎0193-
65-8815)

知 無料法律相談のお知らせ

- ◆開催日…12月6日(木)、13日(木)、
20日(木)、27日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所本庁舎1階
- ◆問い合わせ先…宮古市市民相
談室(☎0193-62-2111)

「確かな未来」が会社を変える。

中退共 で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい
国の退職金制度です。

●国の制度だから安全・安心!
さらに掛金の一部を国が助成します。

●社外積立でラクラク管理!
管理や運用の手間がかかりません。

●掛金は全額非課税でオトク!
節税に加え、手数料もかかりません。

●パートタイマーさん
もご加入いただけます。

●他の退職金・企業年金制度等
とのポータビリティも可能です。

詳しくは
ホームページをご覧ください
中退共 検索

http://chutaiyo.taisyokukin.go.jp/

独立行政法人労働者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211



広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課に12月17日までにお送りください。正解者の中から抽選で3名様に、たのはた食堂提供の豆腐田楽ポストカードが当たります。



Q 10月31日に100歳を迎えた佐藤キクさんは、大正何年生まれ?

- A) 7年
- B) 10年
- C) 13年

■前号(11月号)の正解 Q1→B

■先月当選者(敬称略)
中村 千ト (甲地)
早野 純子 (浜岩泉)

おめでた おくやみ

[平成30年10月届け出分]
(一部敬称略)

■安らかに ～お悔やみ～

島山賢吉(79) 田野畑
島山壽光(79) 甲地
島山喜成(81) 田野畑
工藤正勝(70) 大芦
熊谷健一(70) 羅賀
佐々木善藏(84) 切牛
工藤幸子(85) 島越
島山正男(96) 西和野

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(11月20日現在)

寄付金総額	5743万9008円 908件 (村内132件、県内208件、県外568件)
取り崩し額	1627万4050円
基金残額 (運用益を含む)	4123万6539円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。政策推進課(☎34-2111 内線62)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：12月1日(土)～12月31日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
12月2日(日)	歳末たすけあい演芸会	アズビィホール	10:00～14:00	社会福祉協議会(☎33-3025)
	乳がん・子宮がん検診	アズビィ楽習センター	9:30～10:30	健康福祉課(内線56)
11日(火)	健康相談・健康講話	保健センター	10:00～11:00	健康福祉課(内線56)
13日(木)	リラックスかふえ	保健センター	10:00～11:40	健康福祉課(内線56)
	趣味・教養講座「ほしぞら観察会」	アズビィ楽習センター	19:00～20:00	教育委員会(内線25)
15日(土)	わんぱくランド「チャレンジ・ザ・ドミノ」	アズビィ楽習センター	9:00～12:00	教育委員会(内線25)
19日(水)	幼児健診	保健センター	12:00～15:30	健康福祉課(内線51)
25日(火)	固定資産税3期 納期限			総務課(内線32)
	国民健康保険税7期 納期限			総務課(内線34)
	介護保険料7期 後期高齢者医療保険料6期 納期限			生活環境課(内線21)

役場(代表)☎34-2111 / 総務課(内線)☎34-2112 / 地域整備課☎34-2113 / 生活環境課☎34-2114
教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 健康福祉課☎33-3102

編集ごぼれ話

ふるさとCM大賞
EWE 2018
の審査会が11月25日、盛岡市で行われ、参加してきました。田野畑村のCMのタイトルは「影の人物船長。サップ船アドベンチャーの魅力を伝えました。C

Mは、地域おこし協力隊の高木智彦さんに企画から撮影、編集まで協力してもらい制作。審査会の模様は、12月22日の午後3時から、岩手朝日テレビで放送予定です。(佐々木 歩)

地域おこし協力隊の たのはた暮らし

No.24



辰巳ちあきさん



田野畑村での3回目の冬がやって来ました。前回のコラムでも書いたとおり、今年の夏は机浜の防潮堤工事が終了し、毎日海へ潜ることができるようになりました。さらに、震災後初めての「海水浴」が、机浜で開かれました。村の皆さんだけでなく、県内外から大勢の方が机浜へ来てくれて、体験ダイビングやシュノーケリング体験を楽しんでもらえました。忙しい夏でしたが、たくさんの方と田野畑の海を共有できて、私も楽しいシーズンを過ごすことができました。

今年も夏、一番印象に残った出来事は、村内向けに実施した「スキューバダイビング体験教室」に、70歳の方が参加してくれた事です。60歳前後の方からは結構問い合わせがありました。70歳代の参加者は初めての経験でした。参加してくれたのは机地区にお住いで普段から親しくしてもらっている下机葉子さん。「泳ぎには自信があるから元気づけてみたい」と参加してもらった事に、一度はダイビングをやってみようかと、一度はダイビングをやる事になりました。もちろん、健康面も安全面も万全を尽くしての体験で「やって良かった、来年はもう少しうまくできるようなりたい」と言ってくれました。その後「ダイビングをやったのよ」と、お友だちに話したところ、全然信じてもらえなかったそうです。



西和野自治会(島山種美会長)では、自治総合センターの宝くじ助成金を利用して、備品などを整備しました。整備した備品は、地域の幅広い活動に利用され、コミュニティ活動の推進に役立てられます。

■整備した備品(助成額250万円)

備品名	数量	金額(円)
除雪機	1式	1,137,456
ノートパソコン	1台	260,000
レーザープリンター	1台	74,000
アルミス	30脚	222,000
会議用テーブル	10台	242,000
マイクカラオケ	1台	43,200
液晶テレビ	1台	86,300
オーディオラック	1台	36,000
ポータブルPAシステム	1式	432,000
合計額		2,532,956



西和野自治会で整備した除雪機



熊谷 新斗^{しんと}くん (2歳4カ月)
新吾さん・拓美さん=浜岩泉=

お母さんからのひとこと

新幹線や重機などの乗り物が大好きです。
性格はとにかく元気。きょうだいと一緒に走り回っています。明るくて優しい男の子になってね。

わが家の
アイドル



金野 莉奈^{りな}ちゃん (2歳4カ月)
達徳さん・香奈さん=浜岩泉=

お母さんからのひとこと

「おなかすいたー」と毎日大きなおなかをさすっています。納豆が大好き物！ 納豆の日に生まれたからかな？
自分の決めたことを最後まで粘り強くやり抜く人になれるといいね。



○人生は登りと下り
11月17日、友好都市青森県藤崎町の「ふじさき秋まつり」に出席しました。会場には、リンゴなどの秋の味覚が満載で、田野畑村からは、産業開発公社の職員らが参加し、牛乳や乳製品などを販売しました。
健康づくりフォーラムでは、プロスキーヤーの三浦雄一郎^{ゆういちろう}さんが講演を行いました。
80歳でエベレストの登頂に成功という大偉業を達成した三浦さんは「エベレストの登頂に挑戦するには長い準備が必要で、同じ夢を抱き、同じ方向性を持って努力するかけがえない同志、支えてくれる多くの仲間がいるから達成できるものだ」と話していました。
さらに、エベレストの登頂成功後、下山する時に体が動かなくなったエピソードを話し、登山は、登る事だけでなく、下る事も重要であると話していました。
人生もまた、登りと下りの繰り返しで、下っている時にも必ず意味があると感じました。



村長石原弘の
村長コラム

51



公式
YouTube



公式
Facebook

